

開催趣旨

少子高齢化と人口の減少は鳥取県のみならず、首都圏を含む日本全国において大きな課題となっています。それぞれの地域社会の中で、我々が安心して豊かに暮らす基盤も危機にさらされています。このような状況にあって公立鳥取環境大学では、我々の持つ知的資産やノウハウを駆使したきめ細やかな調査・研究を通じて、鳥取県独自の自然や産業、暮らしや伝統・文化の実情を明らかにし、またそれぞれの専門分野における先進の知見を基に、我々が暮らす鳥取県に適した新しい考え方や対応策を提案できるのではないかと考えています。本報告会ではこのような視点から本学地域イノベーション研究センター兼務教員が地域を対象として行った諸分野での研究、検討成果を説明いたします。

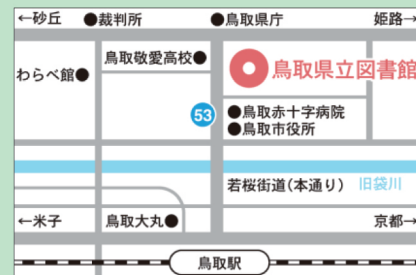
地域のさまざまな活動に関わっておられる皆様、興味をお持ちの皆様、そして、学問的・専門的な視点から、地域の実情を把握したい、あるいは新しい地域社会の在り方を共に考えたいとお考えの皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成30年3月9日 金
13:30～16:30 (開場/13:00)

会場 鳥取県立図書館2階 大研修室
(鳥取市尚徳町101)

定員 120名 (どなたでもご参加いただけます)

参加費
無料



報告 1

鳥取市中心市街地における高齢者の買い物実態に関する基礎調査

経営学部 准教授 倉持 裕彌

報告 2

鳥取市における沿岸漁業の現状と課題

地域イノベーション研究センター 特命准教授 太田 太郎

報告 3

鳥取県におけるシカの分布と森林植生の食害状況の把握

環境学部 准教授 笠木 哲也

報告 4

不撓乱環境下における土壌有機物代謝過程の分子動力学的解析

環境学部 准教授 角野 貴信

報告 5

マイクロ波照射を用いた下水汚泥からのエネルギー回収システム ～嫌気性消化による下水処理場のエネルギー回収拠点化～

環境学部 講師 戸茱 丈仁

※報告順および内容に変更がある場合がございます。ご了承下さい。

【お問合せ・申込先】

参加ご希望の方は、電話・ファクシミリ・電子メールのいずれかで、氏名・所属・電話番号をご連絡ください。

ファクシミリでお申し込みの場合は、裏面の参加申込書をご利用ください。

電話：0857-32-9105 ファクシミリ：0857-32-9108 電子メール：kikaku@kankyo-u.ac.jp

公立鳥取環境大学地域イノベーション研究センター(担当:小澤)



概 要	
報告 1	「鳥取市中心市街地における高齢者の買い物実態に関する基礎調査」 買い物弱者の対策や実態把握は様々にされていますが、買い物弱者とは誰のことなのか、客観的な定義は確立していません。そのため対策の効果が無い、などの状況が起きています。そこで、鳥取市の中心市街地にあるY地区を対象として、主に高齢者の買い物の実態について、いくつかの調査を使って明らかにしていきます。
報告 2	「鳥取市における沿岸漁業の現状と課題」 鳥取市内には6つの漁業地区が存在し、それぞれ地域の実情、漁場環境、歴史的背景などに応じ、特色豊かな漁業が営まれています。一方で漁業の現状は全国的に厳しい現状にあると認識されており、鳥取市においても同様の状況となっています。本報告では特に零細経営体の集合体である沿岸漁業に着目し、水揚げ金額や経営実態、さらには年齢構成や労働環境について調査した結果を紹介し、これらの情報をもとに将来に向けたあり方について議論したいと思います。
報告 3	「鳥取県におけるシカの分布と森林植生の食害状況の把握」 鳥取県の7割以上の面積を占める森林ではシカの食害による植生被害が拡大しつつあります。シカの個体数が急激に増えていとみられる県東部の森林で、シカの分布と植生被害の状況を調査しました。シカがどのように森林を利用、破壊しているのか、そして私たちは今後どのように対応すればいいのか検討します。
報告 4	「不撓乱環境下における土壌有機物代謝過程の分子動力学的解析」 土壌は、植物が吸収した二酸化炭素を有機物の形で蓄積する「貯蔵庫」のような機能を持っていますが、その機能が近年の気候変動によってどう影響を受けるか、良く分かっていません。鳥取の土壌がこれからどう変化する可能性があるのか、議論したいと思います。
報告 5	「マイクロ波照射を用いた下水汚泥からのエネルギー回収システム ～嫌気性消化による下水処理場のエネルギー回収拠点化～」 下水汚泥は「大量」、「安定的」、かつ「比較的均質」に発生する非常に有用な地域バイオマスです。また、下水汚泥の処理方式の一つである嫌気性消化処理では、汚泥中の有機分の一部が分解され、発生したメタンガスは発電利用や熱利用が可能となります。本報告では嫌気性消化の前処理として、マイクロ波照射を用いて下水汚泥からのエネルギー回収量増加に取り組んだ結果を紹介します。

平成29年度 研究報告会 参加申込書

公立鳥取環境大学地域イノベーション研究センター(FAX 0857-32-9108)行

氏名(代表者)		
所属		
電話/FAX番号		
上記以外に参加される方の氏名		
氏名 1		
氏名 2		
氏名 3		

本申込書をファクシミリでご送付いただくか、電話・電子メールで、氏名・所属・電話番号をお伝えください。